

英空母打撃群の舞鶴入港反対



軍拡・戦争体制づくりではなく、東アジアの平和を！

英空母打撃群の舞鶴入港反対

8月下旬より日本近海で自衛隊との合同軍事演習を行ってきた英空母打撃群の主力艦空母クイーン・エリザベスが9月4日に横須賀軍港に入港しました。加えて、関連する軍艦が近く京都府の舞鶴軍港に入港する予定だと報じられています。

これら英軍艦の日本への寄港は初めてのことであり、このかん進む日本・米国・ヨーロッパ諸国の軍事協力の強化の動きの一環です。私たちはこのような、基地の共同使用を含む軍事体制強化ー戦争体制づくりに反対します。

日・米・NATO 諸国の合同軍事演習の中止を

このかん英仏独など NATO（北大西洋条約機構）を構成するヨーロッパ諸国の軍艦がアジアの海域を訪れ、自衛隊や米軍との合同軍事演習を繰り返しています。日本政府はこうした機会を利用して、「中国の脅威」を口実に、自衛隊の実戦体制の強化と軍拡、日本と米・NATO 諸国の軍事同盟・軍事協力関係のいっそうの強化を図ろうとしています。

また、「南西諸島」を含む沖縄から京丹後の米軍 X バンドレーダー基地を結ぶ日米の「ミサイル防衛」(MD) 網の拡大配備は、沖縄と日本列島を戦場にするものです。軍事緊張を日米欧の側から高め、地域の平和を阻害するこれらの動きは今すぐ中止されるべきです。

日本政府の軍拡・戦争体制づくりに NO！

コロナ禍のなかでも、日本政府は戦争体制づくりをおし進めています。先の国会で強行制定された「重要土地規制法」のその一部です。この9月15日から11月下旬にかけては、約10万人が参加する陸上自衛隊の一大軍事演習が予定されています。日本政府また、沖縄の人々の感情を踏みにじって沖縄戦の犠牲者の遺骨が眠る土砂を辺野古の海面埋め立てに使うこと計画し、新たな護岸工事に着手するなど、辺野古新基地建設を強行し続けています。さらに、アフガニスタンへの自衛隊派兵に見られるように、さまざまな口実を使って自衛隊の海外派兵体制の強化を図ろうとしています。

軍事ではなく医療・福祉に予算を！

軍事演習や基地建設、軍備強化のために莫大な税金が投入されています。来年度の防衛予算の概算請求は5兆5000億円近くで、またしても過去最大を更新しました。

しかし、いま深刻なコロナ禍のなかで文字通り最優先されるべきなのは、医療や福祉、困難に直面する人々への生活保障です。巨額の軍事費を投じ軍備を強化し、戦争体制づくりー平和憲法改悪をおし進めることではありません。

米軍 X バンドレーダー基地反対・京都連絡会

No Base! 沖縄とつながる京都の会

kyogamisaki2013@yahoo.co.jp
ohwankyoto@nifty.com

英空母打撃群、9月に日本寄港 4地域分散、防衛相会談で確認へ

2021年7月18日 共同通信

日英両政府は、英国がインド太平洋地域に派遣した空母打撃群について、9月に日本へ寄港させる方向で調整に入った。寄港地を国内4地域に分け、中核となる空母「クイーン・エリザベス」は米海軍横須賀基地（神奈川県）に入る見通し。20日に東京で開催予定の岸信夫防衛相とウォレス英国防相の会談で確認する。日本政府関係者が18日、明らかにした。

5月に英国を出航した空母打撃群は駆逐艦やフリゲート艦など編成が大規模で、米国とオランダの艦艇も同行する。このため海上自衛隊の横須賀基地、舞鶴基地（京都府）、呉基地（広島県）、米海軍佐世保基地（長崎県）への分散寄港を検討している。



英空母クイーン・エリザベスの甲板に並ぶ米軍のF15戦闘機

英空母クイーン・エリザベスが初めて日本寄港 対中国で連携

2021年9月6日 朝日新聞デジタル



横須賀軍港に接岸した英空母クイーン・エリザベス

米海軍横須賀基地（神奈川県）に入港中の英空母クイーン・エリザベスを岸信夫防衛相が6日、視察し、「インド太平洋地域の平和と安定に対する英国の強い意志を感じる事ができた」と述べた。同空母の日本寄港は初めて。空母打撃群を交えた日米欧の共同訓練も展開しており、日本側は空母派遣を中国の台頭を念頭に置いた連携の象徴と位置付ける。

同空母は米海軍の駆逐艦やオランダ海軍のフリゲート艦など北大西洋条約機構（NATO）加盟国の艦船で打撃群を構成し、5月に英国を出発。英政府は「インド太平洋地域の安定と繁栄に向けて、英国がいかに貢献できるかを示す」としている。ウォレス国防相は7月の来日時にインド太平洋地域に英軍の2隻の哨戒艦を「恒久的に展開」させ、数年後には「沿岸即応部隊」を展開させる方針を明らかにした。（以下略）

防衛費5・4兆円超要求へ 4年度予算、過去最大

2021/8/19 18:45 産経新聞

防衛省は令和4年度予算の概算要求で、過去最大の5兆4千億円超を計上する方針を固めた。軍拡を急速に進める中国への対処をにらみ、南西諸島の防衛力を強化。兵器の研究開発費を大幅に増やし、3千億円前後とする方向で調整する。人工知能（AI）や無人兵器など最先端技術への投資を増強し、防衛装備庁の人員も百数十人増を求める考えだ。政府関係者が19日、明らかにした。（以下略）

